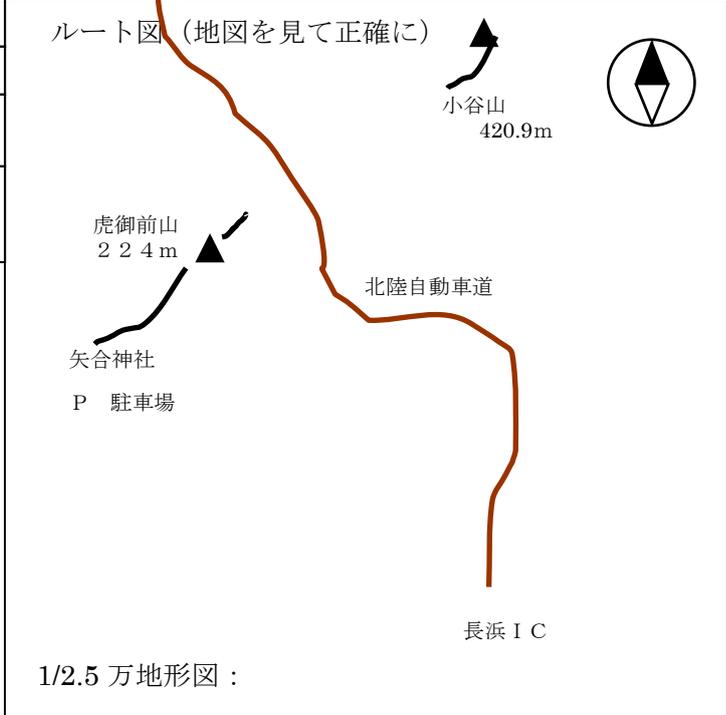


1 月 度 例会 個人 山 行 報 告 書		報告者	油 井 武	参 加 メンバ－	CL:藤田、塚本、洋子、岡田、 吉枝、油井、浜島、不破、津田、 佐溝、深津、渡辺幸、青木、 渡辺勝、育子、福井、白井、 三矢、青柳、伊藤千、
		報告日	1 / 6		
山 域	滋賀県虎姫町	山行日	1 0 年 0 1 月 0 5 日 (火)		
山 名	虎御前山 (2 2 4 m)		日 帰 り		

山行目的	干支山散策	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	-------	--------------------

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局



1 / 5 晴れ後曇り後雪

7 : 10 刈谷発
9 : 10 矢合神社着
9 : 20 公園駐車場出発
9 : 33 神社横通過
9 : 45 虎御前山教育キ
ャンプ場着小休憩
10 : 10 虎御前山頂
10 : 10 寅年年賀式宴
~11:10 山頂出発
11 : 42 高速横下山
12 : 45 公園駐車場着
13 : 20 長浜国民宿舎
14 : 20 昼食
15 : 00 温泉入浴
15 : 00 国民宿舎発
17 : 20 刈谷着、解散

〈山行報告〉 今年の干支は虎となっているので、琵琶湖湖北のここ虎御前山が選ばれた。レンタルバスを神社前の駐車場で降りて、20名が一行になって出発。年末から積もった雪が、車輪によって踏まれ溶けだした轍をたどって進むと、まもなく神社の社殿を左に見ながら安全登山を祈願して進む。小山を一つ迂回して車道をゆくと、滋賀県の施設である虎御前山教育キャンプ場に出た。建物は直径約50mの広場を中心に、周囲に間伐材を使って8区画のログハウスが3mの空間で仕切られ、扇形につらなっている。ここで小休憩。ここからは踏み跡のない雪道、森の間道をゆく=訪ね来し 虎御前山の 雪道に 四十のあしあと そくそく残すと、洋子さんが美しい萌黄色のピロードの苔むした倒木を見つけ、いつくしむようにそっと触ってゆく。=ピロードの あおき苔むす倒木に ヨーコソがなど ふれつ登りぬ=。瀧川一益の陣跡を過ぎると鉄塔が現れ、頂上に着く。ここで恒例の新年初登山年賀式、そして“空”で乾杯。琵琶湖周航の歌を斉唱など大休止。帰路はさらに北へ進むと織田信長陣跡を過ぎる辺りから下りとなる。=とらごぜのくだる雪道グリセードくうをやりすぎシリセイドウか=下ったところが北陸自動車道の脇にでる。青木さんが雪の上に四つ足の足跡を見つけこれウサギと説明する。とその時美女の運転する軽四が青木さんいわく今のはお市の方だと=雪道に四つ足たどる行く先にお市の方のかけぞ久しき=高速道の下をくぐる隧道を抜けると新雪があった。そこで三ツ矢さん=雪のえに顔型のこし写真撮る乙女の姿しばしとどめん=野の道を雪に降られ

長浜豊公荘にて
虎御前の あとの食事は 近江牛 空のさかなに 氷頭のおさしみ
湯につかり ほろ酔い気分で ぼたん雪 友と語りつ 疲れを癒す
だいふくで 空をかたむけ ぼたん雪 甘辛党は これぞ八福
記録: 油井 武



確認
(リーダー)
藤
0/01/09
田
作成
(報告者)

〈リーダー所見〉
年末の雪が解けることなく新年早々に雪山歩きの幸せとなった。
この地は、戦国時代末期の織田信長対浅井・朝倉軍が戦った古戦場でもあるが周囲には温泉に恵まれた保養地でもある。昨年3月に個人山行で訪れた折干支山の候補地にしてしたが、参加メンバーにも楽しく新年を祝って頂くことができた。

2010 干支山虎御前山織田信長本陣跡